

築45年RC造の1階を全面改装

レベルUPリフォーム

仕切りなくし視界良好
南側リビング・仏間から光が注ぐ

100歳だったしゅうとが亡くなって2年を機に、2階から1階に移ったMさん。居住空間の中央にあり、使い勝手の悪かった4畳半の部屋を撤去し、全室バリアフリーに。各部屋の間仕切りもなくし、明るく風通しの良い空間を確保した。

Mさんの要望
段差なくし掃除ラク

- ①4・5畳間をなくして全室、バリアフリーに
- ②台所を対面式に広くして、棚と食品庫を設置
- ③トイレを寝室に設けて二つに
- ④玄関の開口部を広くし、上がりかまちは低く

改装のポイント

南に向けて開放的に

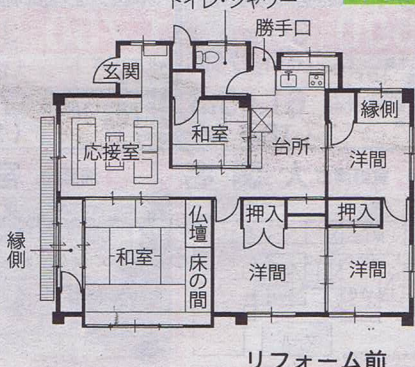
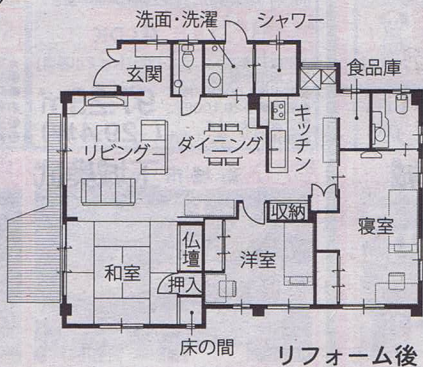
フラダンスサークルに入り、ハワイにもよく行く活動的なMさんにとって、間仕切りが多く外光が部屋の隅々まで行き渡らない1階の造りは住む気になれなかった。だが、仏壇だけ祭っておくわけにもいかず、いずれ引越すなら早い方が、と思っ

ての改装だった。当初は、台所と応接室を分断するようにあった4・5畳間を撤去さえすればいいと思ったが、

DATA

家族構成：本人、子
施工面積：102㎡
躯体構造：鉄筋コンクリート造
築年数：1階45年、2階40年
工期：3カ月半
企画・施工：㈱カネヨシ工務店 嘉数英樹
(電話=098-859-0395)
施工・資材：(資)新垣材木店 野里幸平

平面図



最大15㎡あった部屋の段差はすべてなくし、移動も掃除もしやすくした。風呂場には脱衣室を設け、バスタブはなくし、シャワーだけにした。台所側の洋間二つを一つにして寝室にした。母の老後を思う長男の意見を取り入れて、車いすのまま入れる専用トイレを設置した。

住み心地
室内がすべて明るく

間仕切りが多いために暗く、圧迫感のあった各部屋が南に向かつて開放され、光があふれる空間になった。Mさんは「すべて明るくなった。自室からも台所からも庭が見え、その先の街並みが見える」とうれしそう。仏間の前には広めのデッキを新設。高台からの景色を楽しむために専用のイスと卓を置いた。Mさんは、素晴らしい空間を残してくれた亡父と親に感謝の日々を送っている。

第3週に掲載



南側のデッキはお気に入りの場所。夜中にくつろぐことも

リフォーム後

リフォーム前

床に段差をつけ、天井には欄間があった仏壇の間。1970年代には流行のスタイルだった

寝室のトイレ。洗面台が広いので化粧台も兼ねる

台所からリビングを望む。開口部から庭も見え、門側の松の緑が目まぶしい

戸建～マンションの『快適空間』、ご提案致します。



株式会社 カネヨシ工務店

K
=KANEYOSHI=

リノベーション事業部
TEL:098-859-0395

随時ご相談受付中
那覇市田原3-11-8

カネヨシ工務店 検索